

お知らせ

● 参加申込み

別紙参加申込書に必要事項を記入の上、  
**8月31日（木）**までに、FAXでお申込みください。 **FAX** 027-231-3164  
 ※参加申込書は、本校ホームページでダウンロードすることも可能です。  
 詳しくは本校ホームページ（<http://jhs.edu.gunma-u.ac.jp/>）をご覧ください。

● 参加費

各日、一人1,000円。当日、受付にて申し受けます。

● 備考

- (1) 上履きは本校で用意いたします。
- (2) 校内では名札を着用してください。受付でも簡易名札を用意しますが、普段お使いの名札があればご持参ください。
- (3) ご参加の申込みをいただいた場合は、個人情報保護法の趣旨に基づき、次のことをご誓約いただいたものとさせていただきます。  
 ア 本校の公開研究会における撮影・録音は、本校職員の指示に従う。  
 イ 本校の職員、生徒の映像・写真・音声及び個人情報等について、研究を目的とした個人的利用に限定する。  
 ウ 本校校長の許可なく、公表・発表を行わない。

# 強くしなやかに (2年次) 創造する力の育成

～問題解決を促す協働・創造学習～

平成29年 **9月7日(木)・8日(金)**

- 7日(木)** 国語・理科・英語・音楽・家庭・学級活動
- 8日(金)** 社会・数学・美術・保健体育・技術・道徳

学校保健実践研究会

〈8日(金)〉 13:30～15:00

総合的な学習の時間

〈7日(木)・8日(金)〉 パネル発表

文部科学省講演

〈7日(木)〉

文部科学省初等中等教育局  
 主任視学官 清原 洋一 先生

「『社会に開かれた教育課程』を実現する  
 新しい学習指導要領」

〈8日(金)〉

文部科学省初等中等教育局  
 教科調査官 浅見 哲也 先生

「『特別の教科 道徳』の指導と評価」



今の時代を生きる子どもたちには複雑な状況変化に対応すべく、生徒それぞれがもつ知識や経験を結び合わせ、新たな価値を「創造」することが求められています。そこで本校では、新学習指導要領の「育成を目指す資質・能力」について、各教科で具体化し、研究に取り組んできました。  
 また、「特別の教科 道徳」では、授業改善と評価を実施し、本校ならではの実践を提案致します。  
 今年度は文部科学省より講師をお招きし、次期学習指導要領と「特別の教科 道徳」について、皆様と一緒に考えていきたいと思います。どうぞお越しください。

	8:30	9:00	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	13:30	14:30	15:40	16:50				
<b>7日(木)</b>	受付	全体会	授業説明①	研究発表①	公開授業①	移動	授業研究会①	昼食	授業説明②	研究発表②	公開授業②	移動	授業研究会②	移動	文科省講演
<b>8日(金)</b>							受付	学校保健実践研究会							

主催／群馬大学教育学部附属中学校  
 後援／群馬県教育委員会・群馬県小学校中学校教育研究会

交通案内

【JR前橋駅発】

- ・関越交通バス  
 富士見温泉行「北代田」下車  
 徒歩 15分
  - ・永井バス  
 嶺公園行「県営住宅前」下車  
 徒歩 10分
- ※バスは本数が少ないのでご注意ください。

【自家用車】

- ・本校係員の指示に従って駐車してください。



● 問い合わせ先

群馬大学教育学部附属中学校

〒371-0052 群馬県前橋市上沖町612 Tel 027-231-4651 Fax 027-231-3164  
 副校長／川野 文行 研究主任／加瀬 健  
<http://jhs.edu.gunma-u.ac.jp/>

本校HP



第1日目 9月7日(木)

授業者 (授業クラス)	主 題		
	単元(等)名	授業PR	指導助言者
国 語	筋道立てて物事を考え、伝え合う力を高め、表現し合える生徒の育成		
 下田 俊彦 (3年2組)	①「紀行文」を書こう	修学旅行の学びと古典の読解をつなげた学習において、現代語の紀行文を擬古文へ変換する活動を通して、時間の経過による言葉の変化への理解を高め、自分の思いや考えを表現する力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 武川 光
 後閑 芳孝 (2年2組)	②福祉体験学習のレクリエーションを提案しよう	福祉体験学習の体験先の施設で行うレクリエーションの提案をする学習において、論理的で分かりやすい話の構成や展開を考える活動を通して、自分の思いや考えを表現する力を身に付けます。	群馬大学教育学部 准教授 河内 昭浩
理 科	科学的な事象を自分とのつながりで考え、表現する生徒の育成		
 下平 明德 (2年1組)	①消化酵素の働き	消化酵素の働きを調べる実験において、消化酵素がどのように働いているのかという疑問を、「仮説NAV1シート」を活用することを通して見通しを持ち、検証できる仮説を立案する力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 佐藤三枝子
 柏木 純 (3年3組)	②電流が流れる水溶液	電流が流れる水溶液の電気分解において、水溶液中で起こる化学変化のしくみを、生徒の思考を可視化し共有する場面を効果的に設定することで、探究の過程を振り返り、妥当性を検討する力を身に付けます。	群馬大学教育学部 准教授 栗原 淳一
英 語	他者に配慮しながら即興的に自分の考えや意見を表現しようとする生徒の育成		
 林 尚子 (2年4組)	①群馬県の特徴について討論しよう	即興力を高められるような帯活動を通して、相手に配慮しながら地域の魅力について自分の考えや意見を表現できる力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 大竹 康史
 柳川 祥恵 (1年3組)	②いろいろな国の料理を紹介しよう	食の祭典、国際フードフェスティバルを舞台に、帯活動で鍛えた即興的な英語による対話を通して、世界の様々な食べ物を友達に紹介します。	群馬大学教育学部 教授 上原 景子
音 楽	仲間とともに試行錯誤してよりよい音楽表現を目指す生徒の育成		
 星野 勇希 (1年4組)	①コードに合わせて旋律をつくらう	「I-IV-V-I」の旋律づくりについて、音のつながり方や構成上の特徴を「音楽のもと分析表」で考え「試行サイクル」で練りあげることで、最適な施行方法を選択する力や、曲想と音楽の構造などとの関わりを論理的に考え、創意工夫する力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 綿貫 充 群馬大学教育学部 准教授 中里 南子
家 庭	課題を解決するためのよりよい方法を判断し、生活を工夫し創造できる生徒の育成		
 小倉 久代 (1年1組)	①和服のよさを生かそう	群馬県の産業や文化を担ってきた絹織物である和服のよさを生かした作品の構想を考える活動を通して、「家庭科の見方・考え方」を働かせて思考・判断する力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 佐野 美幸 群馬大学教育学部 准教授 前田亜紀子
学級活動	よりよい学級の実現に向けて、自発的・自治的な集団を創造できる生徒の育成		
 木村謙太郎 (3年4組)	②学級の生活を充実させるために学級会で話し合おう	生徒たちから提案され、計画委員会で練り上げた議題について学級で話し合うことを通して、よりよい集団を目指して自発的・自治的に活動しようとする力と折り合いをつけながら合意形成する力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 山本 義光 群馬大学教育学部 准教授 吉田 浩之

第2日目 9月8日(金)

授業者 (授業クラス)	主 題		
	単元(等)名	授業PR	指導助言者
社 会	社会的事象について試行錯誤しながら考え、持続可能な未来を構想する生徒の育成		
 弥城 淳 (3年2組)	①労働をめぐる現代日本の課題	働き方改革やワーク・ライフ・バランスの実現が求められている現代日本において、思考ツールを活用しながら労働に関する課題を多面的・多角的に分析し、「対立と合意」「効率と公正」の考え方を踏まえ、未来の労働について考察していきます。	群馬県教育委員会 指導主事 星野 浩章
 関川 暢洋 (1年4組)	②ヨーロッパ州の現在と未来	EU結成による地域統合の影響について、思考ツールを用いながら多面的・多角的に分析し、ヨーロッパ州の持続可能な未来を「対立と合意」「効率と公正」の考え方を踏まえ、中学1年生ならではの視点で考察していきます。	群馬大学教育学部 准教授 中尾 敏朗
数 学	質の高い知識を活かすための論理的思考力を身に付けた生徒の育成		
 関根 直哉 (2年3組)	①1次関数の利用	具体的な事象の中から数量関係を見だし、変化や対応を調べることに伴って、表・式・グラフを相互に関連付けることを通して、1次関数についての理解を深め、変化の様子を考察する能力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 帖佐 一
 小林 弘樹 (1年2組)	②1次方程式の利用	道のり・速さ・時間に関する問題について、図や表を用いて必要な情報を整理し、問題の意味を捉えることで、方程式を利用した問題解決の考え方を身に付けます。	群馬大学教育学部 教授 江森 英世
美 術	思いや願いを込めた主題を深めるための素材との関わりをもとに、試行錯誤しながら新たな表現を獲得していく生徒の育成		
 大井 衛 (2年4組)	②形骸化した街	思いや願いを込めた主題をもとにした制作について、題材の価値に迫る素材研究やよりよい表現方法を追求するための鑑賞活動を通して、試行錯誤しながら新たな表現を獲得していく力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 細矢 瑞左 群馬大学教育学部 准教授 郡司 明子
保健体育	状況判断における課題解決を通して、運動の特性やチームプレーを楽しむ生徒の育成		
 小川勇之助 (2年1・2組)	①ハンドボール	ゴールへ向かうスピーディーな攻防を展開しつつ、空間に走りこんでパスをもらい、ジャンプシュートを決めて喜ぶ、自ら状況を判断しながらチームプレーの楽しさを味わう生徒の姿をぜひ見に来てください。	群馬県教育委員会 指導主事 勅使河原誠 群馬大学教育学部 准教授 鬼澤 陽子
技 術	課題を解決するためのよりよい方法を判断し、生活を工夫し創造できる生徒の育成		
 茂木 悟 (1年1組)	①材料と加工の技術で生活の課題を解決しよう	木材を主材料とした製作品の構想を見直す活動について、自ら設定した課題や構想した解決策を評価し改善・修正する活動を通して、「技術の見方・考え方」を働かせて思考・判断する力を身に付けます。	群馬県教育委員会 指導主事 柳幸 真 群馬大学教育学部 教授 本村 猛能
道 徳	道徳的価値を自分の生き方に捉え直して見つめ、よりよく生きようとする生徒の育成		
 宮崎 洋人 (3年1組)	②C-(16) 郷土を愛する態度	郷土を愛する態度について、授業を通して自分の考えや他人の考え、資料の価値などから多面的・多角的にものごとを捉える力を引き出すとともに、道徳的価値について深く理解し、今後の生き方に反映しようとする態度を養います。	群馬県教育委員会 指導主事 植木 文貴 群馬大学教育学部 教授 山崎 雄介
<b>&lt;学校保健実践研究会&gt;</b>			
発表者	主 題		指導助言者
 宮下 綾奈	よりよい生活習慣を確立できる生徒の育成 —睡眠日記やすこやか家族会議を活用した、睡眠の質を高める指導—		群馬県教育委員会 指導主事 堀部真理子 群馬大学教育学部 教授 西園 大実